

## 様式第9

議 事 錄	
会 議 名	令和7年第3回北警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和7年8月19日（火） 午後2時から午後4時までの間 北警察署 講堂
出 席 者	1 委員 10名（定数12名） 西野 博会長 渡辺 優貴副会長 井上 育男委員 山田 浩司委員 丹羽 忍委員 加藤 祐二委員 柘植 好美委員 近藤 大輔委員 劉 月歎委員 高井 由美委員
	2 警察署員 9名 加藤署長 瀧川副署長 笠木警務課長 田中会計課長 藤ノ木生活安全課長 川合地域課長 長瀬刑事課長 伊藤交通課長 高橋警備課長
	3 有識者等 なし
1 会長挨拶	
2 署長挨拶	
3 前回の意見・要望に対する具体的な施策の推進状況	
(1) 前回の協議事項	優秀な人材確保にかかる方策について
(2) 前回の意見・要望	ア 待遇、職場環境、働き方、福利厚生をアピールし、具体例を紹介発信 イ 小中高大学各層にあわせたワークショップと若手警察官を採用に活用 ウ 警察の社会的評価向上に向けたイベント、本部・署・警察学校見学の実施
(3) 施策の推進状況	ア 警察業務及び採用説明会の実施 イ 職場体験学習の実施 ウ 管内大学や高校と連携した採用活動 エ 若手警察官リクルーターの活用 オ 各種イベント等における採用活動の実施 カ 警察関係施設見学の実施 キ 将来を見据えた採用活動の実施
4 協議事項	

様式第9（続紙）

「安心」「安全」な北区の確立に向けて北警察署に望むこと

5 発言の要旨

- ・ 警察と住民が相互に連携することが大切で、警察はパトロールで地域を見守り、住民はパトロールする警察官を見て安心感を得ることができる。
- ・ 警察は事件や事故が発生した場合、速やかに情報を住民に伝えて注意喚起を図り、住民はパトネットなどから正しい各種情報を得ることが大事。
- ・ 警察と住民が協力して安全なまちづくりを進めていけるよう、きめ細やかな情報発信とパトロールの強化、そして住民の声に耳を傾ける姿勢を大切にすることだと思う。
- ・ 「安心」「安全」な北区の確立は、警察の力だけでできるわけではないので、住民の中でも警察の広告塔となってくれるような人を味方につければいいのではないか。
- ・ 住民が望む事件・事故情報を具体的かつ速やかに伝えること、何時、何処で、どの様な事件・事故だったのか、住民はどのような対策を取るべきなのか、分かりやすく伝えてほしい。
- ・ 商業施設などのイベントやお祭り会場、地域や学区のイベントなどに警察ブースを出展して、広報啓発活動を行うことは、警察と住民が触れ合える機会なので積極的に取り組んでもらいたい。
- ・ 特殊詐欺やインターネット関連犯罪は複雑化・巧妙化しているので、警察は相談窓口を明確化して話しやすい環境を整えてもらいたい。
- ・ 防犯カメラは犯罪抑止に有効と言われているので、犯罪被害が多発する地域に、多数の防犯カメラの設置を促すような取組も進めてもらいたい。
- ・ 外国人の住民が増えているので、多言語への対応も進めてほしい。

6 意見・要望

信頼や親しみが感じられ住民の治安意識を向上させる警察活動の「見える化」

(1) 見る

安心感を与えるパトロールと防犯カメラの設置推進

(2) 聞く

積極的な事件・事故情報の発信による住民への注意喚起

(3) 言う

ア 警察相談窓口の周知（多言語への対応に配意）

イ 地域、コミュニティに注意喚起の広告塔となる人材の育成活動

7 その他

(1) 犯罪被害者支援に関する講演

会議に先立ち、警務課長が「社会全体で取り組む犯罪被害者支援」について説明した。

(2) 次回開催予定

令和7年11月下旬

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。